

国営かんがい排水事業
田 沢 二 期 地 区

地区別基礎資料（案）

令和3年6月17日

東 北 農 政 局

令和3年度 国営土地改良事業再評価

国営かんがい排水事業

た ざわ に き
田 沢 二 期 地 区

地区別基礎資料（案）



令和3年6月

東北農政局

目

次

1. 地域概要、事業概要	1
2. 事業の進捗状況	7
3. 関連事業の進捗状況	7
4. 社会経済情勢の動向	8
5. 事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無	35
6. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化	37
7. 費用対効果分析の結果	43
8. 環境との調和への配慮	49
9. 事業コスト縮減等の可能性	52
10. その他	53

1. 地域概要、事業概要

(1) 地区の概要

本地区は、秋田県南部の仙北平野の北東部に位置し、大仙市、仙北市及び仙北郡美郷町にまたがる約4,750haの水田地帯である。

本地区の地形は、西部は日本海に向けてなだらかに傾斜し、東部は奥羽山脈、北部には白神山地、南部には丁岳(ひとのだけ)山地と神室(かむろ)山地が連なり、三方を山で囲まれている。県南東部を流れる雄物川流域には、南北約60キロメートル、東西約15キロメートルにおよぶ横手盆地があり、盆地の北部は仙北平野、中南部は平鹿平野と呼ばれ、本地区は仙北平野の東部に位置する。

本地域では、水稻を中心に、水田の畑利用による大豆等の土地利用型作物のほか、えだまめやアスパラガス等を組み合わせた営農が行われている。本地区を構成する大仙市、仙北市、仙北郡美郷町では米の農業産出額が秋田県管内の約2割を占めており、豊かな自然のもと恵まれた土壌と水利条件、気象条件等により県内でも有数の良質米の産地となっている。基盤整備も比較的進んでおり、土地利用型農業の生産性向上を一層進めるとともに、大豆・麦の他、高収益作物の野菜・花き等の組合せによる複合経営の推進を図り、団地化や農地集積による高効率化・低コスト化に取り組んでいる。

また、周辺には角館武家屋敷や田沢疏水が還元する六郷湧水群等の観光地や田沢湖、抱返り溪谷等の景勝地があり、多くの観光客が訪れている。

(2) 事業実施の背景

ア 地域の歴史(田沢疏水のはじまり)

江戸時代に佐竹藩による新田開発が行われたが、本地区が位置する仙北地方では山地が占める割合が多く、しかも扇状地のため標高差が大きく水利の便が悪く開発が遅れていた。

仙北地域での新田開発は文政8年(1825年)に秋田藩主佐竹義厚公(よしひろ)により、約3,000町歩の開田のため、白岩村(現仙北市角館)広久内地先の玉川に堰を設け、左岸から南六郷に向かう約30kmの素掘り水路(御堰[おせき]と称した)を開削する計画が立てられた。玉川を堰止める工事は洪水で流され三度も失敗、取り入れ口を上流に移しトンネルを掘り抜き、延々30kmに及ぶ用水路「御堰[おせき]」が完成、新田開発と古田の補給水として利用された。これが、現在の田沢疏水の始まりである。

しかし、玉川の水は源流の渋黒川から玉川温泉の強酸性水が注ぎ、古くから「玉川毒水」と呼ばれ、流域の農業に甚大な被害を与えていた。その後、御



図1.1 御堰、田沢疏水、第2田沢幹線用水路
出典：報文「田沢疏水の歴史」(水と土 第170号)

堰は、度重なる災害に見舞われ、決壊埋没し、いくたびか復旧の計画が立てられたが、実現にいたらず、荒廃していった。

イ 田沢疏水国営開拓事業

仙北平野の開拓は、昭和12年、「田沢疏水国営開拓事業」として、その第一歩を踏み出した。この計画は、玉川の水を田沢湖に流し込み、強酸性を希釈し、生保内発電、夏瀬発電で発電用水として利用し、その下流の神代調整池から放流された水を抱返頭首工で取水し水田に利用しようというものである。その規模は、県内に例をみない前代未聞の3,000haに及ぶ大開拓事業であり、その完成は江戸時代からの新田開発、農業水利開発にかけた農家や関係者の多大な苦難の歴史の上に完成し、多くの農地を潤すこととなった。

ウ 国営第二田沢開拓建設事業

更に、昭和38年より国営第二田沢開拓建設事業が開始され、神代調整池の左岸から取水し、田沢疏水の受益地より更に一段高い地帯にある未墾地、角館町（現仙北市）をはじめとする約1,080haの開発を行い、第二田沢幹線用水路の完成をもって、江戸時代から続く仙北平野東部の農業水利開発、新田開発がほぼ終了した。

エ 国営田沢疏水農業水利事業

その後、国営田沢疏水開拓事業により造成された幹線用水路が施工後30年以上が経過し、水路の老朽化に加え、維持管理費が増加していることから、田沢疏水左岸及び右岸幹線用水路約31km、抱返頭首工（左岸頭首工）及び神代右岸取水口の更新を行うため、昭和54年から国営田沢疏水農業水利事業が開始された。

表1.1 本地区で行われたこれまでの事業

項目	田沢疏水国営開拓事業	国営第二田沢開拓建設事業	国営田沢疏水農業水利事業
関係市 (秋田県)	・大仙市(旧横沢村、旧豊岡村、旧長信田村) ・仙北市(旧白岩村、旧神代村) ・美郷町(旧千屋村、旧畑屋村、旧六郷町、旧飯詰村、旧金澤町)	・大仙市(旧中仙町、旧太田町) ・仙北市(旧角館町) ・美郷町(旧千畑町)	・大仙市(旧中仙町、旧太田町) ・仙北市(旧角館町、旧田沢湖町) ・美郷町(旧六郷町、旧千畑町、旧仙南村)
受益面積	2,551ha(開拓)	約992ha(水田：992ha、畑：-ha) (未墾地572ha、既耕地420ha)	3,830ha (水田：3,830ha、畑：-ha)
主要工事 計画	右岸取水口 1箇所(新設) 左岸頭首工 1箇所(新設) 導水路 33.9km(新設) 左岸幹線水路 31.3km(新設) 右岸幹線水路 2.6km(新設) 支線用水路 16.1km(新設) 排水路 17.8km(新設) 揚水機 1箇所(新設) 水路管理舎 1式(新設)	第二田沢取水口 1箇所(新設) 用水路 78.3km(新設・改修) (第二田沢幹線用水路 25.5km新設含む) 揚水機 6箇所(新設) 排水路 21.0km(新設) 幹線道路 0.2km(新設) 開田 507ha 区画整理 366ha	抱返頭首工 1箇所(改修) 神代取水工 1箇所(改修) 左岸幹線用水路 27.6km(改修) 右岸幹線用水路 2.5km(改修) 中央管理事務所 1箇所(新設) 子局 7箇所(新設)
総事業費	1,028百万円	2,865百万円	13,210万円
工期	昭和12年度～昭和37年度	昭和38年度～昭和45年度	昭和54年度～平成元年度

資料：「平成27年度 田沢二期農業水利事業 田沢二期地区事業再評価資料作成業務 報告書」(平成27年8月)

報文「田沢疏水の歴史」(水と土 第170号)、秋田県広報誌「あきた」(通巻59号 1967.4.1)

事業誌「田沢疏水」(平成2年3月)、水土里ネット田沢疏水ホームページ、秋田県ホームページ

(3) 事業概要(国営田沢二期土地改良事業)

これまでに本地区は、田沢疏水地域として幹線用水路等の基幹水利施設が長年にわたり整備されており、一部を改修しつつ維持されている。関連するほ場整備も進み、現在では秋田県を代表する穀倉地帯となった。しかし、基幹水利施設の整備後約40年程度が経過し、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力が必要となってきた。また、一部のほ場区画が狭小で大型機械による作業が困難であることや水源が不安定で用水不足となっていることから、効率的な営農にも支障を来している。

このため、本事業により頭首工、取水口及び幹線用水路の改修と併せて用水再編を行い、農業用水の安定的な供給と施設の維持管理の軽減を図るとともに、関連事業により区画整理を実施することで営農の合理化を図り、農業生産性の向上と農業経営の安定に資するものである。また、併せて、地区内の農業用水が従来から有している地域用水機能の増進に資することを目的に平成23年度より開始された。

ア 事業計画概要

- (a) 関係市 : 秋田県大仙市、仙北市、仙北郡美郷町
- (b) 受益面積 : 事業計画時点(平成23年度) 4,697ha(田:4,697ha)
再評価時点(令和3年度) 4,685ha(田:4,685ha)
- (c) 主要工事計画 : 事業計画時点 頭首工 1箇所(改修)
取水口 2箇所(改修)
用水路 59.4km(改修)
水管理施設 一式(改修)
再評価時点 頭首工 1箇所(改修)
取水口 2箇所(改修)
用水路 59.4km(改修)
水管理施設 一式(改修)
- (d) 総事業費 : 事業計画時点 15,960百万円(平成21年度単価)
再評価時点 18,880百万円(令和3年度単価)
- (e) 工期 : 事業計画時点 平成23年度～平成31年度
再評価時点 平成23年度～令和6年度
- (f) 受益者数 : 事業計画時点(平成23年度) 4,153人

イ 施設の概要

(a) 抱返頭首工

名称	抱返頭首工		位置	(右岸)秋田県仙北市田沢湖卒田字大影小影 (左岸)秋田県仙北市角館町広久内字大広久内			備考	
形式	堤高(m)	堤長(m)		取水位(m)	取水量(m ³ /s)	附帯施設		
		固定部	可動部				計	
フィックスドタイプ固定堰	4.5 ～ 7.6	42.0	5.6 (土砂吐 B3.0m×H4.1m×1門)	47.6	101.6 (取水門 B3.4m×H2.45m×2門)	12.12	—	改修



(b) 神代右岸取水口

名称	神代右岸取水口	位置	秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬			備考
形式	構造		取水位(m)	取水量(m ³ /s)	附帯施設	
鋼製スライドゲート	取水門 B1.4m×H1.4m×1門		147.0	2.05	—	改修

▼改修前



除塵設備更新及び
船舶庫新設

改修

▼改修後



(c) 第二田沢取水口

名称	田沢第二取水口	位置	秋田県仙北市角館町広久内字大広久内			備考
形式	構造		取水位(m)	取水量(m ³ /s)	附帯施設	
鋼製ローラーゲート	取水門 B1.5m×H1.5m×2門		147.0	2.95	制水門 B3.6m×H1.95m×1門	改修

▼改修前



ゲート設備類の更新
及び巻上機室改築

改修

▼改修後



(d) 用水路

項目 水路名	かんがい 面積 (ha)	通水量 (m^3/s)	延 長 (km)	構 造	主要構造物	備 考
田沢疏水左岸 幹線用水路	3,314	12.12	25.2	コンクリート直壁型 及びトンネル	サイホン 5箇所	改修等
田沢疏水右岸 幹線用水路	539	2.05	1.7	コンクリート直壁型 及びトンネル	落差工 1箇所	改修等
第二田沢 幹線用水路	844	2.95	25.6	コンクリート直壁型 及びトンネル	サイホン 27箇所 水路橋 8箇所 水管橋 1箇所 落差工 9箇所	改修等
支線用水路 (10路線)	(507)	(2.41)	6.9	コンクリート直壁型		改修等 ()内は幹線用水 路と重複で内数
合計	4,697	—	59.4			

【田沢疏水左岸幹線用水路】目地補修

▼改修前



▼改修後



【田沢疏水右岸幹線用水路】目地補修、ゲート補修

▼改修前



▼改修後



【第二田沢幹線用水路】水路改修、水路蓋設置

▼改修前



▼改修後



ウ 地域用水機能増進について

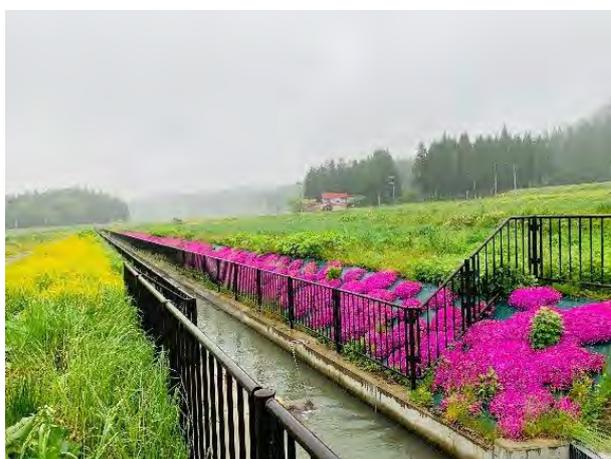
本地区の農業用水は、国営田沢疏水開拓事業等により用水路が整備されて以来、地区内における農業生産を支え続ける一方で、地域住民に対し良好な親水空間を提供し、また、防火用水としての利用も可能となっている。さらに、本地区の農業用水は地域住民により水路内での野菜の洗浄など、地域の住民生活に根差した利用がなされている。

しかし、これら用水路は造成後、相当の年数が経過し老朽化が進んでいる。そのため、これら水路の改修を行い、農業用水の安定供給と地域用水機能の維持を図るとともに、地域住民等からの要望に基づき、火災時の初期消火活動を容易とする取水ピット等の設置や洗い場としての利用を可能とする階段工や安全柵の設置等を行い、地域用水機能の増進を図り、地域における住民生活の質の向上と安全の確保を目指すことを目的に平成24年5月に地域用水整備環境計画が策定されている。

本事業は、施設の改修に併せてこれらの地区内農業用水が従来から有している、景観・親水、消流雪用水、防火用水等の地域用水機能の増進にも資するものであり、地域用水機能の維持・増進に係る支線用水路の改修については、地域用水機能増進事業と連携し、関係団体で組織される地域用水対策協議会と連携を図りながら工事を進めている。現在の進捗率は、親水・景観施設で77.6%、生活用水(洗い場)施設で78.4%、防火用水施設で61.4%である。



写1.1 左：生活用水施設 右：防火用水施設



写1.2 景観形成(植栽状況)

▼地域用水機能増進に係る施設整備の進捗状況

区分	進捗率
親水・景観	77.6%
生活用水(洗い場)	78.4%
防火用水	61.4%

2. 事業の進捗状況

令和2年度までの進捗率は、総事業費ベースで78.2%となっている。主要工事計画のうち、取水口2箇所は令和元年度までに完了している。用水路は令和2年度までに47.8km（80.5%）の整備を実施しており、地域用水機能の維持・増進に係る施設の整備については、関係団体で組織される地域用水対策協議会と連携を図りながら工事を進めている。

今後は、引き続き用水路の整備を実施するとともに、頭首工、水管理施設の工事に着手し、令和6年度の事業完了に向け計画的に工事を進める予定である。

地区名	事業費ベース			事業量ベース			
	総事業費 (百万円)	令和2年度まで (百万円)	進捗率	区分	全体	令和2年度まで	進捗率
田沢二期 地区	18,880	14,764	78.2%	頭首工	1箇所	—	
				取水口	2箇所	2箇所	100%
				用水路	59.4km	47.8km	80.5%
				水管理施設	1式	—	

資料：総事業費改定総括表(令和3年度)

3. 関連事業の進捗状況

本地区では、関連事業として県営ほ場整備事業13地区が位置付けられており、令和2年度時点では1地区が完了、5地区が実施中である。令和2年度までの事業進捗率は、総事業費ベースで32.8%となっている。

未着手の地区については、今後、国営事業と連携して効果が十分発揮するように計画的に着手する予定である。

地区名	工期	受益面積 (ha)	事業費ベース			
			全体 (百万円)	令和2年度まで (百万円)	進捗率	
農業競争力強化農地整備事業	高野地区	R5～R10	52	780	—	—%
	東田・岡崎・神代地区	H30～R5	289	6,435	2,396	37.2%
	八日市地区	R6～R11	16	240	—	—%
	太田南部(三本扇)地区	R2～R8	68	1,201	33	2.7%
	卒田地区	R6～R11	126	1,890	—	—%
	金沢東根地区	R6～R11	118	1,770	—	—%
	畑屋中央地区	H29～R4	170	3,127	2,657	85.0%
	大畑地区	H22～H28	57	849	849	100.0%
	太田南部(太田横沢)地区	R2～R8	173	3,057	85	2.8%
	斉内地区	H27～R4	262	4,373	4,054	92.7%
	天神堂地区	R6～R11	264	3,960	—	—%
	新興地区	R4～R9	120	1,800	—	—%
	一丈木地区	R6～R11	80	1,200	—	—%
計		1,795	30,682	10,073	32.8%	

資料：国営事業に付帯する関連事業の事業管理調書(令和3年度版) 秋田県

4. 社会経済情勢の動向

(1) 対象地区概要及び対象年度

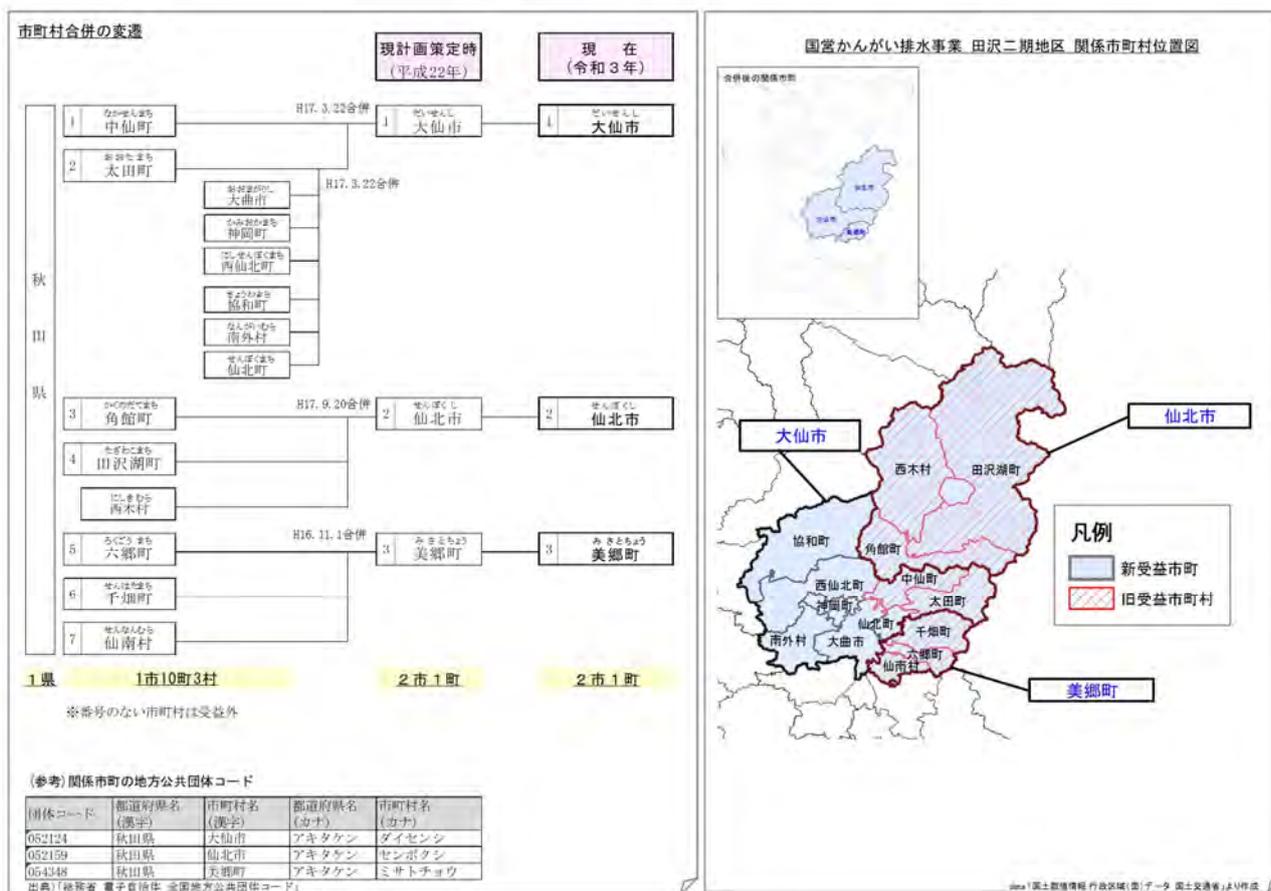
本地区の再評価にあたり、「4. 社会経済情勢の変化」は国勢調査及び農林業センサス等の統計資料により整理、検討を行った。なお、対象市町村及び対象年度は下記のとおりである。

ア 対象市町村

本地区の関係市町は、秋田県大仙市、仙北市、仙北郡美郷町(以下、「関係市町」という。)である。現計画(平成22年)策定前の平成16年度頃に大規模な市町村合併が行われている。そのため、受益の対象は大仙市、仙北市、仙北郡美郷町の一部(昭和30年の市町村合併前の「4町16村」(以下、「関係旧町村」という。))が該当するが、現市町区域を対象に社会経済情勢の動向を整理した。

イ 対象年度

国勢調査及び農林業センサスは、5年毎に公表されており、本検討では平成17年(2005年)、平成22年(2010年)、平成27年(2015年)の3か年の資料整理を行った。特に、事業計画策定時(平成22年)の平成22年と最近年である平成27年との動向に着目し、検討を行った。

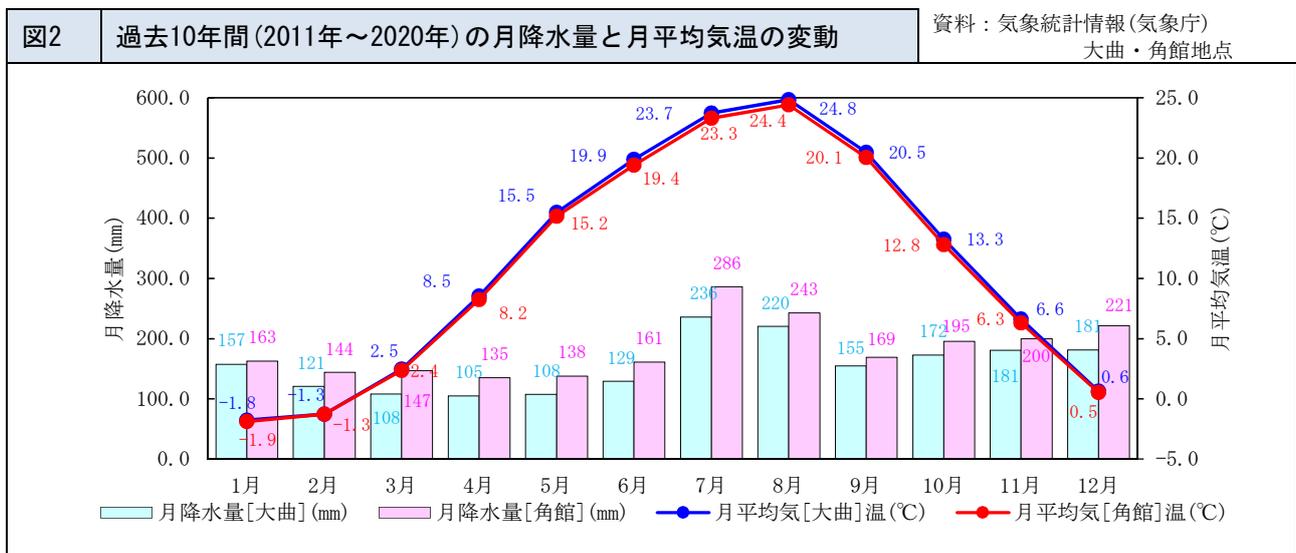
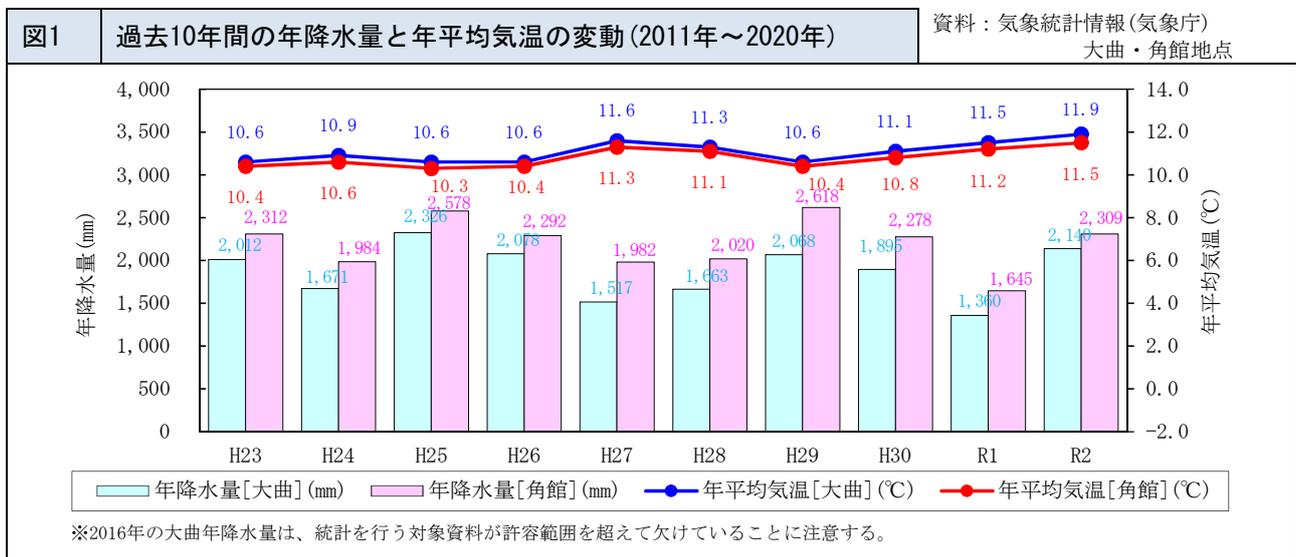


(2) 気象状況

本地区が位置する秋田県は西部が日本海に面し、東部の県境は南北に奥羽山脈が連なっているため、典型的な日本海型気候である。寒暖の差が大きく、暖候期は主に南東の風が吹き、晴れの日が多く、冬期は強い北西の季節風が吹き、降雪と厳しい寒さに見舞われる。内陸部に入るに従い積雪量が多く、気温も沿岸部より低いのが特徴である。

平成23年から令和2年までの10年間の推移を見ると、年別の降水量は大曲観測所(大仙市)で1,360mm～2,326mm、角館観測所(仙北市)で1,645mm～2,618mm、平均気温は大曲観測所で10.6℃～11.9℃、角館観測所で10.3℃～11.5℃である。昭和40年から平成20年までの平年値が、大曲観測所で平均降水量1,774mm、角館観測所で平均降水量2,078mm、平均気温10.4℃、平均気温10.5℃である。年毎の変動はあるものの、傾向の変化は認められない(図1)。

また、月別の日平均気温は、大曲観測所では1月に最低の-1.8℃、8月に最高の24.8℃、角館観測所では1月に最低の-1.9℃、8月に最高の24.4℃となり、平均気温の寒暖差は両観測所とも約27℃ある(図2)。



(3) 総人口・世帯数の推移

【関係市町の総人口は減少傾向にあり、減少率は秋田県とほぼ同じである。】

【年齢別人口は、関係市町、秋田県ともに高齢人口が30%以上を占めている。】

【世帯数は、関係市町、秋田県ともに微減の傾向にある。】

〔状況〕 関係市町の総人口は、平成17年の148,258人から平成27年には130,585人と17,673人(12%)減少しており、減少率は秋田県の11%とほぼ同じである。年齢構成比は、65歳以上の高齢人口が36%を占めており、秋田県(34%)とほぼ同じである。また、関係市町の世帯数は、平成17年の44,980世帯から平成27年の43,944世帯と微減傾向にあり、秋田県も同様の傾向にある〔図3、図4〕。

〔動向〕 平成17年と平成27年を比較すると、関係市町では年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15～64歳)が減少し、高齢人口が増加し、高齢化の進行が見られる。〔図3〕。

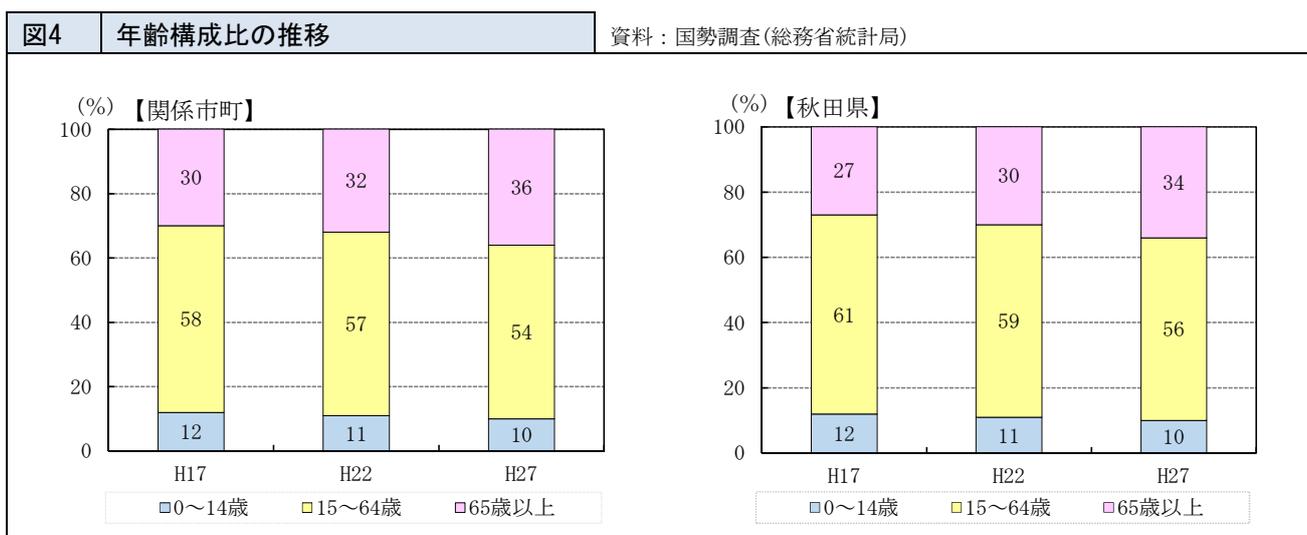
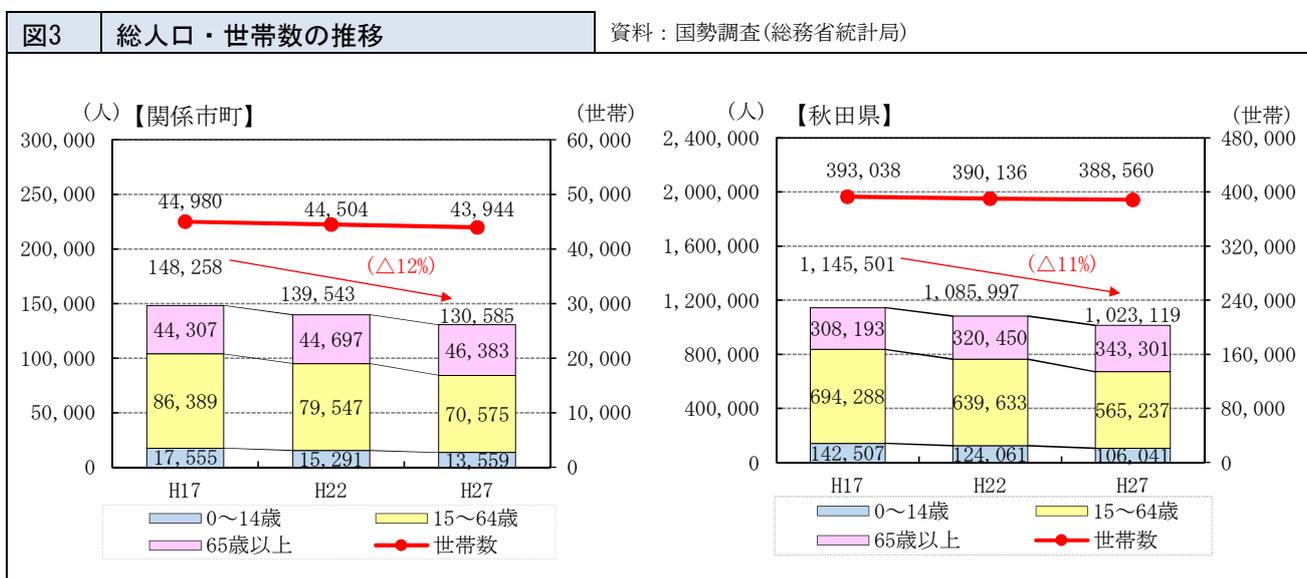


表1 総人口・世帯数の推移

資料：国勢調査(総務省統計局)

区分	年次	市町名	人口				世帯数	
			0～14歳	15～64歳	65歳以上	総計		
関係市町	実数 (人)	H17	大仙市	11,234	54,479	27,639	93,352	28,381
			仙北市	3,554	18,477	9,837	31,868	10,274
			美郷町	2,767	13,433	6,831	23,038	6,325
			地域計	17,555	86,389	44,307	148,258	44,980
		H22	大仙市	9,743	50,632	27,919	88,301	28,354
			仙北市	3,179	16,462	9,927	29,568	9,859
			美郷町	2,369	12,453	6,851	21,674	6,291
			地域計	15,291	79,547	44,697	139,543	44,504
		H27	大仙市	8,725	45,364	28,659	82,783	28,198
			仙北市	2,740	14,187	10,563	27,523	9,594
			美郷町	2,094	11,024	7,161	20,279	6,152
			地域計	13,559	70,575	46,383	130,585	43,944
	構成比 (%)	H17	大仙市	12	58	30	100	—
			仙北市	11	58	31	100	—
			美郷町	12	58	30	100	—
			地域計	12	58	30	100	—
		H22	大仙市	11	57	32	100	—
			仙北市	11	55	34	100	—
			美郷町	11	57	32	100	—
			地域計	11	57	32	100	—
		H27	大仙市	11	54	35	100	—
			仙北市	10	52	38	100	—
			美郷町	11	54	35	100	—
			地域計	10	54	36	100	—
H17=100	H17	大仙市	100	100	100	100	100	
		仙北市	100	100	100	100	100	
		美郷町	100	100	100	100	100	
		地域計	100	100	100	100	100	
	H22	大仙市	87	93	101	95	100	
		仙北市	89	89	101	93	96	
		美郷町	86	93	100	94	99	
		地域計	87	92	101	94	99	
	H27	大仙市	78	83	104	89	99	
		仙北市	77	77	107	86	93	
		美郷町	76	82	105	88	97	
		地域計	77	82	105	88	98	
秋田県	実数 (人)	H17	—	142,507	694,288	308,193	1,145,501	393,038
		H22	—	124,061	639,633	320,450	1,085,997	390,136
		H27	—	106,041	565,237	343,301	1,023,119	388,560
	構成比 (%)	H17	—	12	61	27	100	—
		H22	—	11	59	30	100	—
		H27	—	10	56	34	100	—
	H17=100	H17	—	100	100	100	100	100
		H22	—	87	92	104	95	99
		H27	—	74	81	111	89	99

注) 人口総数には年齢「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。構成比には年齢「不詳」を含んでいない。

(4) 産業別就業人口の推移

【全就業者に占める農業就業者の割合は全ての関係市町において県全体の水準より高くなっている。】

【秋田県全体と同様に第3次産業が最も多い。】

【農業就業人口は県全体と同水準で減少している。】

〔状況〕 関係市町における平成27年の産業分類別就業者数は総計65,548人で、このうち第1次産業が9,381人(14%)、第2次産業が17,159人(26%)、第3次産業が38,452人(59%)となっており、第3次産業の就業人口割合が最も高い〔図5〕。全就業者数に占める農業就業者数の割合は、関係市町で14%(9,008人)であり、秋田県の割合(9%, 43,328人)より高くなっている〔図6〕。

〔動向〕 関係市町における平成17年から平成27年の推移をみると、第1次産業は12,274人から24%減少し、9,381人(県全体は24%減少)、第2次産業は21,795人から21%減少し17,159人(県全体は21%減少)、第3次産業は40,646人から5%減少し38,452人(県全体は8%減少)となり、県全体とほぼ同じ傾向である〔図5〕。

産業別の構成比の推移をみると、関係市町及び秋田県共に大きな変化はないが、近年は第3次産業の構成比が上昇傾向にある〔図7〕。

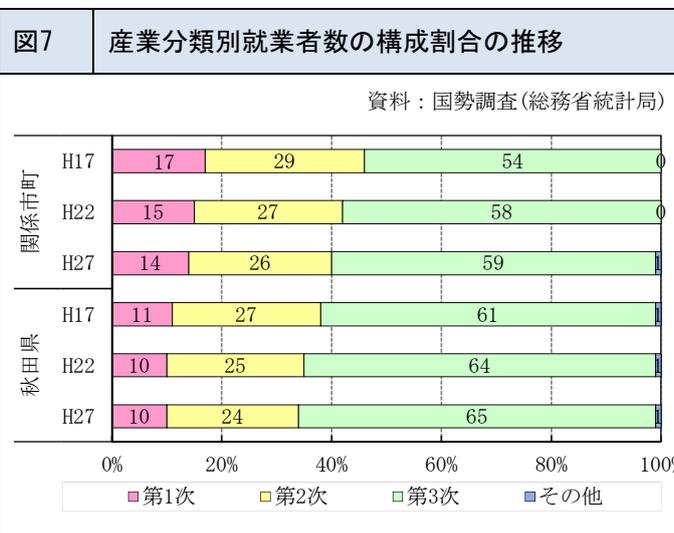
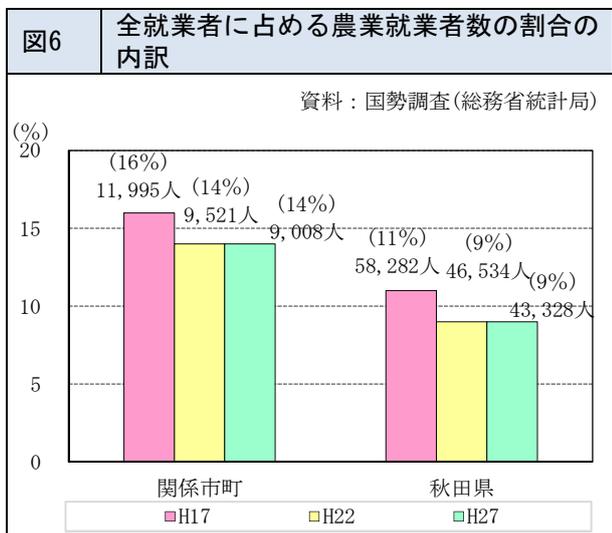
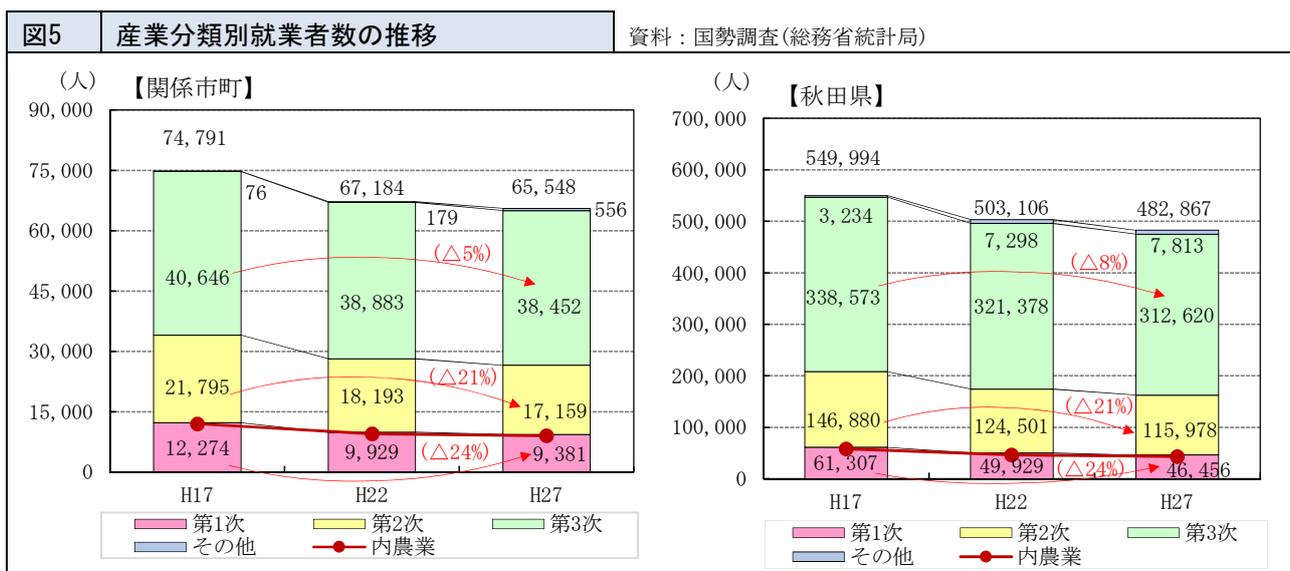


表2 産業別就業人口の推移

資料：国勢調査(総務省統計局)

区分	年次	市町名	第1次産業		第2次産業	第3次産業	その他	計	
				内農業					
関係市町	実数 (人)	H17	大仙市	7,481	7,381	13,292	25,925	21	46,719
			仙北市	2,272	2,101	4,541	9,097	18	15,928
			美郷町	2,521	2,513	3,962	5,624	37	12,144
			地域計	12,274	11,995	21,795	40,646	76	74,791
		H22	大仙市	6,142	5,983	11,226	24,856	125	42,349
			仙北市	1,883	1,658	3,556	8,470	45	13,954
			美郷町	1,904	1,880	3,411	5,557	9	10,881
			地域計	9,929	9,521	18,193	38,883	179	67,184
		H27	大仙市	5,713	5,570	10,617	24,805	365	41,500
			仙北市	1,879	1,667	3,365	8,094	161	13,499
			美郷町	1,789	1,771	3,177	5,553	30	10,549
			地域計	9,381	9,008	17,159	38,452	556	65,548
	構成比 (%)	H17	大仙市	17	16	28	55	0	100
			仙北市	14	13	29	57	0	100
			美郷町	21	21	33	46	0	100
			地域計	17	16	29	54	0	100
		H22	大仙市	15	14	27	58	0	100
			仙北市	14	12	25	61	0	100
			美郷町	18	17	31	51	0	100
			地域計	15	14	27	58	0	100
		H27	大仙市	14	13	26	60	1	100
			仙北市	14	12	25	60	1	100
			美郷町	17	17	30	53	0	100
			地域計	14	14	26	59	1	100
	H17=100	H17	大仙市	100	100	100	100	100	100
			仙北市	100	100	100	100	100	100
			美郷町	100	100	100	100	100	100
			地域計	100	100	100	100	100	100
		H22	大仙市	82	81	84	96	595	91
			仙北市	83	79	78	93	250	88
			美郷町	76	75	86	99	24	90
			地域計	81	79	83	96	236	90
		H27	大仙市	76	75	80	96	1738	89
			仙北市	83	79	74	89	894	85
			美郷町	71	70	80	99	81	87
			地域計	76	75	79	95	732	88
秋田県	実数 (人)	H17	—	61,307	58,282	146,880	338,573	3,234	549,994
		H22	—	49,929	46,534	124,501	321,378	7,298	503,106
		H27	—	46,456	43,328	115,978	312,620	7,813	482,867
	構成比 (%)	H17	—	11	11	27	61	1	100
		H22	—	10	9	25	64	1	100
		H27	—	10	9	24	65	1	100
	H17=100	H17	—	100	100	100	100	100	100
		H22	—	81	80	85	95	226	91
		H27	—	76	74	79	92	242	88

(5) 地域経済の動向

(ア) 農業産出額の推移

【関係市町の農業産出額は、平成17年と比較し平成30年は減少しているが、平成26年を境に増加傾向にある。】

【平成30年の関係市町の農業産出額における米の産出額は65%を占め、秋田県より高い。】

【平成30年の関係市町の米の農業産出額が秋田県の米の農業産出額の約2割を占めている。】

〔状況〕 平成30年における関係市町の農業産出額は、米が24,150百万円(65%)、次いで、野菜が6,130百万円(17%)、畜産が4,740百万円(13%)である。秋田県の農業産出額は、米が103,600百万円(56%)で半数以上を占めており、次いで、畜産が35,900百万円(19%)、野菜が30,800百万円(17%)である〔図7、図8、図9〕。秋田県、関係市町とも農業産出額のうち米が概ね2/3を占める稲作主体の農業であり、関係市町の米の農業産出額は、秋田県の米の農業産出額の約2割を占めている。

〔動向〕 関係市町の農業産出額は、平成17年の37,160百万円から平成30年は36,850百万円に減少しているが、平成26年を境に増加している。また、内訳は米が微減、野菜や畜産が微増しているが大きな変化はない。秋田県の農業産出額は、平成17年の186,600百万円から平成30年は184,300百万円に減少しているが、関係市町と同様に平成26年を境に増加傾向にある。また、内訳は米が微減、野菜や畜産が微増しているが大きな変化はない〔図7、図8〕。

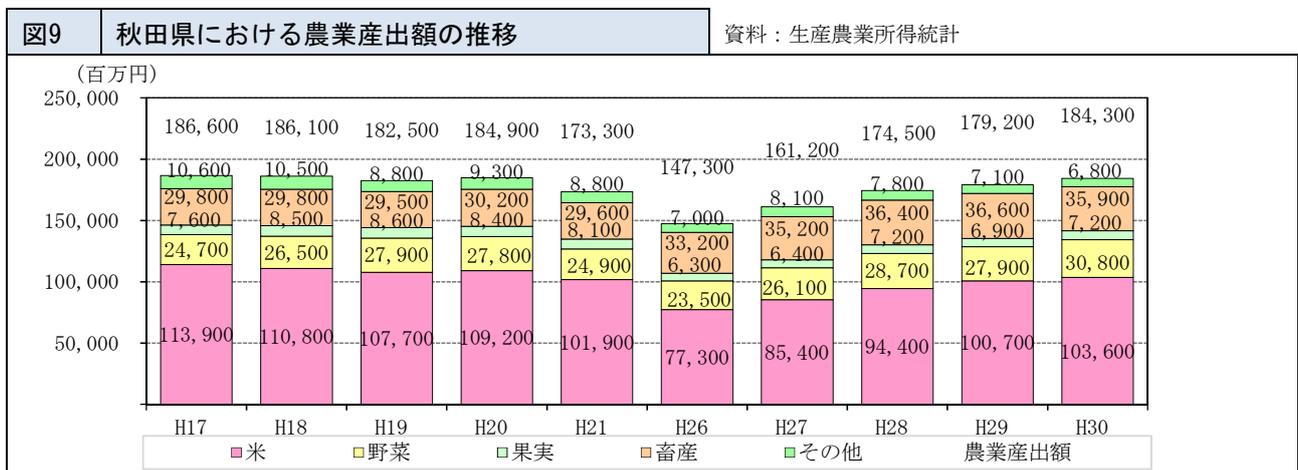
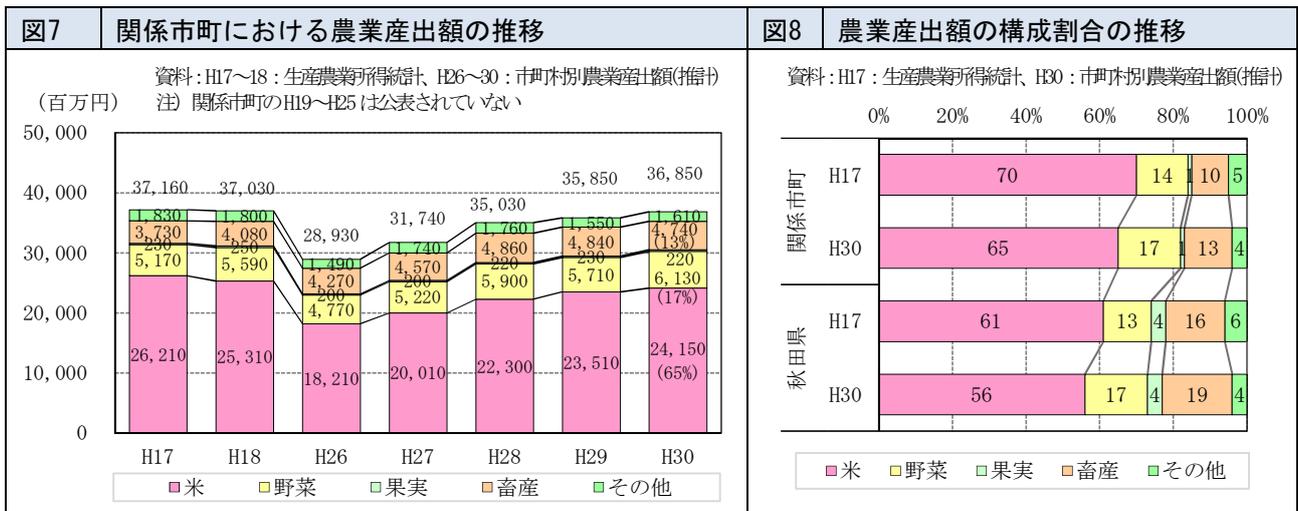


表3 農業産出額の推移（市町別）

資料：H17～18：生産農業所得統計、
H26～29：市町村別農業産出額（推計）

区分	年次	市町名	米	野菜	果実	畜産	その他	計	
関係市町	農業産出額（百万円）	H17	大仙市	16,340	3,170	90	2,160	1,180	22,940
			仙北市	4,100	1,160	10	1,160	320	6,750
			美郷町	5,770	840	130	410	330	7,470
			地域計	26,210	5,170	230	3,730	1,830	37,160
		H18	大仙市	15,830	3,460	100	2,130	1,170	22,690
			仙北市	4,010	1,170	10	1,520	310	7,020
			美郷町	5,470	960	140	430	320	7,320
			地域計	25,310	5,590	250	4,080	1,800	37,030
		H26	大仙市	11,510	3,050	80	2,900	840	18,380
			仙北市	2,700	970	30	1,060	420	5,180
			美郷町	4,000	750	90	310	230	5,370
			地域計	18,210	4,770	200	4,270	1,490	28,930
		H27	大仙市	12,690	3,350	80	3,080	980	20,180
			仙北市	2,900	1,050	20	1,150	500	5,620
			美郷町	4,420	820	100	340	260	5,940
			地域計	20,010	5,220	200	4,570	1,740	31,740
		H28	大仙市	14,190	3,820	80	3,250	980	22,320
			仙北市	3,220	1,190	30	1,250	510	6,190
	美郷町		4,890	890	110	360	270	6,520	
	地域計		22,300	5,900	220	4,860	1,760	35,030	
	H29	大仙市	14,880	3,700	80	3,220	860	22,750	
		仙北市	3,420	1,120	50	1,270	450	6,310	
		美郷町	5,210	890	100	350	240	6,790	
		地域計	23,510	5,710	230	4,840	1,550	35,850	
	H30	大仙市	15,300	3,940	80	3,050	900	23,270	
		仙北市	3,550	1,210	30	1,330	440	6,560	
		美郷町	5,300	980	110	360	270	7,020	
		地域計	24,150	6,130	220	4,740	1,610	36,850	
	構成比（%）	H17	大仙市	71	14	1	9	5	100
			仙北市	61	17	0	17	5	100
			美郷町	77	11	2	6	4	100
			地域計	70	14	1	10	5	100
		H18	大仙市	70	15	1	9	5	100
			仙北市	57	17	0	22	4	100
			美郷町	75	13	2	6	4	100
			地域計	68	15	1	11	5	100
H26		大仙市	62	17	0	16	5	100	
		仙北市	52	19	1	20	8	100	
		美郷町	74	14	2	6	4	100	
		地域計	63	16	1	15	5	100	
H27		大仙市	63	17	0	15	5	100	
		仙北市	52	19	0	20	9	100	
		美郷町	74	14	2	6	4	100	
		地域計	63	16	1	14	6	100	
H28		大仙市	64	17	0	15	4	100	
		仙北市	52	19	1	20	8	100	
		美郷町	74	14	2	6	4	100	
		地域計	63	17	1	14	5	100	
H29		大仙市	65	16	1	14	4	100	
		仙北市	54	18	1	20	7	100	
		美郷町	77	13	1	5	4	100	
		地域計	65	16	1	14	4	100	
H30	大仙市	66	17	0	13	4	100		
	仙北市	54	18	1	20	7	100		
	美郷町	75	14	2	5	4	100		
	地域計	65	17	1	13	4	100		

注) 数値は四捨五入しており、各項目の合計と計が一致しないことがある。

表4 農業産出額の推移（秋田県）

資料：生産農業所得統計

区分	年次	米	野菜	果実	畜産	その他	計	5ヶ年平均 /指数		
秋田県	農業産出額（百万円）	H17	113,900	24,700	7,600	29,800	10,600	186,600	182,680	
		H18	110,800	26,500	8,500	29,800	10,500	186,100		
		H19	107,700	27,900	8,600	29,500	8,800	182,500		
		H20	109,200	27,800	8,400	30,200	9,300	184,900		
		H21	101,900	24,900	8,100	29,600	8,800	173,300		
		H26	77,300	23,500	6,300	33,200	7,000	147,300		81
		H27	85,400	26,100	6,400	35,200	8,100	161,200		88
		H28	94,400	28,700	7,200	36,400	7,800	174,500		96
		H29	100,700	27,900	6,900	36,600	7,100	179,200		98
		H30	103,600	30,800	7,200	35,900	6,800	184,300		101
	構成比（%）	H17	61	13	4	16	6	100	—	
		H18	59	14	5	16	6	100	—	
		H19	59	15	5	16	5	100	—	
		H20	59	15	5	16	5	100	—	
		H21	59	14	5	17	5	100	—	
		H26	52	16	4	23	5	100	—	
		H27	53	16	4	22	5	100	—	
		H28	54	16	4	21	5	100	—	
		H29	56	16	4	20	4	100	—	
		H30	56	17	4	19	4	100	—	

注) 数値は四捨五入しており、各項目の合計と計が一致しないことがある。

(イ) 製造品出荷額の推移

【関係市町の製造品出荷額は、ともに平成20年から平成21年にかけて世界金融危機の影響により、急激に減少したが、その後回復し、一定に推移している。秋田県でも同様に減少したが、それ以降は回復傾向にある。】

〔動向〕 関係市町の製造品出荷額は、平成20年から平成21年に世界金融危機の影響により急激に減少したが、平成22年に回復してからは一定に推移している。秋田県の製造品出荷額は、同様に平成20年から平成21年に急激に減少したが、それ以降は、平成30年まで回復傾向にある〔図10〕。

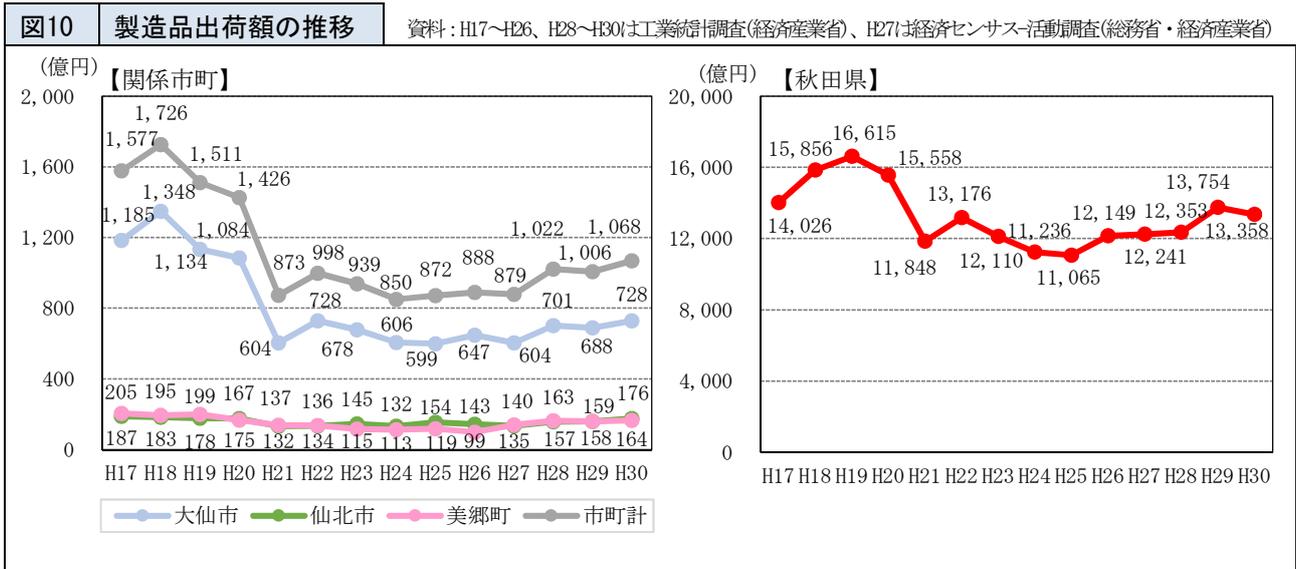


表5 製造品出荷額の推移 資料：H17～H26、H28～H30は工業統計調査(経済産業省)、H27は経済センサス活動調査(総務省・経済産業省)

(単位：百万円)

	大仙市	仙北市	美郷町	市町計	秋田県
H17	118,459	18,745	20,492	157,696	1,402,567
H18	134,818	18,332	19,454	172,605	1,585,560
H19	113,363	17,765	19,938	151,066	1,661,481
H20	108,411	17,512	16,699	142,622	1,555,844
H21	60,445	13,167	13,707	87,319	1,184,799
H22	72,780	13,437	13,557	99,774	1,317,579
H23	67,838	14,541	11,511	93,890	1,210,954
H24	60,563	13,185	11,286	85,034	1,123,642
H25	59,907	15,448	11,852	87,206	1,106,465
H26	64,695	14,283	9,872	88,849	1,214,936
H27	60,385	13,453	14,030	87,868	1,224,139
H28	70,145	15,666	16,344	102,155	1,235,285
H29	68,807	15,942	15,843	100,591	1,375,450
H30	72,791	17,630	16,400	106,822	1,335,769

(ウ) 商品販売額の推移

【関係市町の商品販売額は、平成23年の東日本大震災により減少したが、その後回復し、一定に推移している。秋田県でも同様に減少したが、平成24年以降増加に転じている。】

〔動向〕 関係市町の商品販売額は、平成23年の東日本大震災により減少したが、平成24年以降回復してから一定に推移している。秋田県の商品販売額は、平成23年の東日本大震災により減少したが、平成24年以降は回復し増加に転じている〔図11〕。

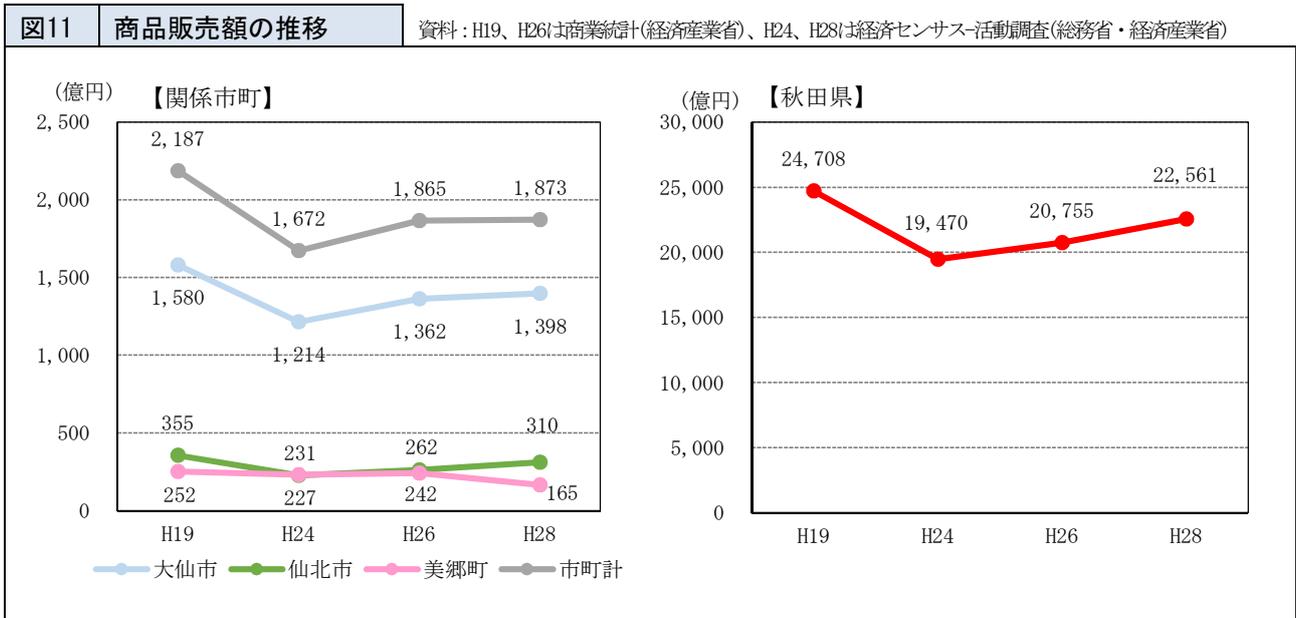


表6 商品販売額の推移 資料：H19、H26は商業統計(経済産業省)、H24、H28は経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)

(単位：百万円)

	大仙市	仙北市	美郷町	市町計	秋田県
H19	157,978	35,522	25,162	218,662	2,470,794
H24	121,389	22,686	23,146	167,221	1,946,983
H26	136,196	26,154	24,158	186,508	2,075,476
H28	139,782	30,996	16,513	187,291	2,256,067